



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」  
— 気付き、生かす —

# 若松中だより

千葉市立若松中学校  
校報  
第 55 号  
令和 4年 1月 7日

## 今年も宜しくお願い致します

校長 古市 直彦

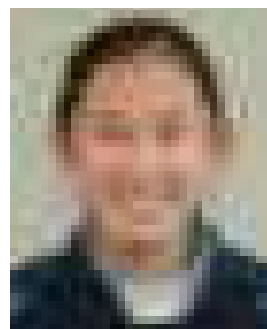
新しい年が始まりました。新年を迎える際にはいつも、心身が引き締まる思いがします。昨日からは、後期後半戦の学校生活も始まりましたが、登校した生徒の表情にも「今年も頑張るぞ」という決意の表れを感じることができました。また、冬休み前の放送による全校集会では、一年間のしめくくりに向け、各学年の代表生徒が次のような意気込みを語ってくれていました。

私達1学年が入学してからこの9ヶ月間で大きく成長したことは、基本的なことをしっかりとできるようになったことです。夏休み明けは小さなミスが重なり、大きなミスに変わってしまうと言うことが多くありました。しかし最近では、学年全体で声をかけ合ったり、クラス内で係や委員会活動で助け合ったりしてことで、様々なミスが少なくなってきました。また、そのことに加え、1学年のフロアーでは、あいさつや返事等の基本的なことがしっかりとできるようになってきています。

ただ、年が明け、新しい年になると、私達は上級生になります。今のままの現状維持では、入学してくる後輩達の見本になることができません。

ですので、今まで学年で心を一つに作りあげてきた土台を、更に強化できるようにABCを再度見直し、学年としての質を、より上げていきたいと思っています。そして、そのことが、これから行われる校外学習や3年生を送る会の成功へもつながり、より自信をもって先輩になれると思うからです。胸を張って後輩を引っ張り3年生を支える。そのような学年を目指し、みんなでより一層努力していくことを大切にしたいと思います。

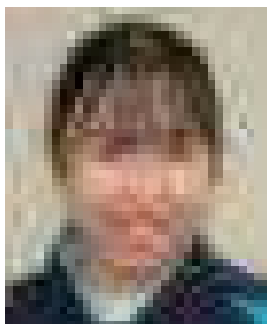
1学年代表 \_\_\_\_\_ さん(1-4)



2年生になって9ヶ月がたち、各クラスでも様々な行事を通して団結力や仲の深まりが見えてきました。また、11月に行われた校外学習では、ウォークラリーなどで班で協力し、「5分前行動」を全員が意識して、「唯一無二」の校外学習になったと思います。学校生活では、2分前着席をまわりの人で呼びかけて一人一人が徹底していき、スムーズに授業が始められるようになりました。

一方、まだまだ課題も見られます。中でも、廊下での過ごし方です。休み時間に廊下で固まり通行できなくなってしまうたり、給食前では手洗いタイム後、チャイムが鳴る前に着席できない人が多く見られます。もう一度自分の行動を振り返り、「本当にそれでいいのか」と考え、相手の身になって行動することを、ぜひ意識してほしいと思います。また、来年は、最高学年となる年です。そのためにも、今ある自分の課題を改善していきましょう。学年全体の一人一人が「自分は最高学年になる」という自覚をもって、残り少ない2年生の時間を大切に過ごしていきたいです。

2学年代表 \_\_\_\_\_ さん(2-5)



私達3年生は、今、進路選択という、これまで経験したことのない壁を目の前にしています。自分の力で、自分の責任で、自分の未来を勝ち取るために一生懸命勉強しています。時には、プレッシャーに押しつぶされそうになるときもあります。でも、3年の仲間たちと「団体戦」という気持ちで良い授業をするために協力したり、朝や昼休みに一緒に勉強して教え合ったりすることで、着実に志望校合格に向けて、点数を伸ばしています。

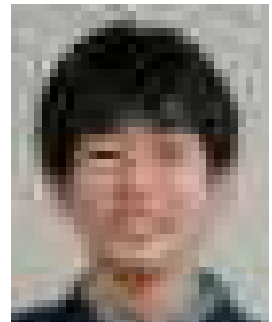
そんな中で、私が今、一番大切だと思うことがあります。それは、自分をコントロールすることです。皆さんは、自分の事をコントロールできていますか。自分が正しいと思うことを実行できていますか。勉強が辛くなったり、集中できなくなったりしたときに、自分に甘えてダメな方に流されるのではなく、気持ちを入れ直してがんばることがどれだけ大切か。これは、部活動や普段の生活でも同じなのではないでしょうか。辛い練習でも、最後までやり遂げることで結果はついてくるはずで、当たり前のことをばかにせずしっかりやり続けることで、人から信頼されます。

新型コロナウイルスの対策も、だんだん緩んできていませんか。

3年生は、卒業まで3ヶ月もありません。悔いの残らないよう、一日一日、一瞬一瞬を大切にしていきましょう。

1・2年生の皆さん。今、目の前の頑張らなければいけないことを、一つ一つ頑張ることが、3年生になったときに絶対に生きてきます。当たり前のことを、自分に甘えずコントロールして頑張ってください。

3学年代表 \_\_\_\_\_ くん(3-1)



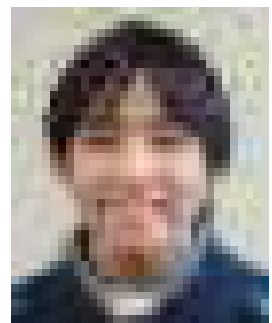
後期に入ってから、僕たち8組は、毎日元気で楽しく過ごすことができました。しかし、楽しみにしていた「合唱コンクール」や「げんきキャンプ」が無くなったことは残念でした。特に合唱コンクールは、4月からみんなで練習を始め、僕は指揮者としての練習もがんばっていたので、中止が決まったときは本当にかっかりしました。

でも、気持ちを切り替え、今は2月の「合同予餞会」にむけて、トーンチャイムの練習に、みんなで一生懸命取り組んでいます。

また、今僕たち3年生は、活動の中心を下級生、特に2年生に引き継ぐことを意識するようにしています。そして、それぞれが選んだ進路に向けて、準備を進めています。自分がしなければいけないことを、しっかりと意識して、受検にのぞみたいと思います。

15人の、この仲間と過ごせる時間を大切に、これからも笑顔あふれる8組にしていきたいです。

8組代表 \_\_\_\_\_ くん(3-8)



昨日テレビ放送で行った冬休み明けの全校集会では、私の方で4名の話を取り上げたあと、年末に放映されたNHK大河ドラマ「青天を衝け」の中で印象的だった、渋沢栄一氏の次のような言葉を紹介しました。

### 「みんなが嬉しいのが一番なんだで」

千葉市内でも新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向にあります。オミクロン株の市中感染も報じられており、まだまだコロナ禍での学校生活が続きそうですが、今までと同様に感染対策をしっかりと講じながら、「みんなが嬉しい」学校を築いていけるように精進していきたいと思っています。

今年もどうぞ宜しくお願い致します。

